

理学療法士・作業療法士
国家試験問題 解答と解説
2009 年版 CD-ROM
(Windows Vista/XP/2000)
取扱説明書

医歯薬出版株式会社 編

◇ 本 CD-ROM のご使用にあたって

- 1) 本書ご購入者で、本 CD-ROM をご利用になる方のコンピュータへのインストールを除いて、本 CD-ROM の内容(プログラム、データなど)の複製を禁止します。
- 2) 医歯薬出版株式会社および本 CD-ROM の開発関係者は、本 CD-ROM を運用した結果について、一切の責任を負いません。
- 3) 本 CD-ROM に関するお問い合わせは、FAX (03-5395-7606)、E-mail (dev@ishiyaku.co.jp) でお受けいたします。
- 4) 本 CD-ROM へのご感想を上記 FAX か E-mail でお寄せください。問題点、改善点などをご指摘くだされば幸いです。郵送の場合は〒113-8612 医歯薬出版(株) PT・OT 国試係まで。

◇ 動作環境

- ・OS：日本語版 Windows Vista/XP/2000
- ・ディスプレイ：800×600 ドット以上
- ・メモリ：16 MB 以上
- ・ハードディスクの空き：25 MB 以上
- ・CD-ROM ドライブ

<ご注意>

ディスプレイのサイズが 640×480 に設定されている場合は、画面がディスプレイからはみ出した状態で表示されます。ディスプレイのサイズは必ず 800×600 以上の設定にしてください。

ディスプレイサイズの変更方法については、Windows のヘルプ「画面の解像度を変更するには」をご参照ください。画面解像度を変更するとデスクトップのアイコン位置が変わりますのでご注意ください。

なお、ディスプレイサイズが 800×600 に設定されている場合は、ディスプレイのフォントサイズが大きいサイズ (120 dpi) では画面がディスプレイからはみ出した状態となります。Windows のヘルプ「画面に表示する文字のサイズを変更するには」をご参照のうえ、ディスプレイのフォントサイズを小さいフォントまたは通常サイズ (96 dpi) に変更してご使用ください。

※各画面 (図 1～21) は過去の版をもとにしています。年号を適宜読みかえてください。

※利用環境によっては setup. exe が setup, また ken. exe が ken などと拡張子(. exe)なしで表示されます。また各画面の表示が多少異なる場合があります。適宜読みかえてください。

※履歴には 10 問以上回答すると成績などが記録されます。

1. インストール

<ご注意>

- 1) Windows Vista/XP の場合は管理者権限でインストールしてください。
- 2) 国家試験問題集プログラムを動作させるにあたり VB 6.0 ランタイムが必要ですが、本プログラムが動作する場合は、既にインストールされています。
国家試験問題集プログラムをインストール後、正常に動作しない場合のみ、<Visual Basic 6 ランタイムインストール>を参照のうえ、[vb6sp5r.exe] からのランタイムインストールをしてください。

<インストール>

- 1) Windows を起動し、本 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
 - 2) 自動的に本 CD-ROM の内容が表示されます (図 1)
 - ・ Internet Explorer 6 以上をご利用の場合：図 1 の setup.exe をクリックすると、図 2 のようなダイアログが開きます。「実行」または「開く」をクリックするとインストールが始まります。以降の手順は 3) の手順をご覧ください。
 - ・ Internet Explorer 6 以外のブラウザをご利用の場合：図 1 の画面を閉じてから、「マイコンピュータ」か「エクスプローラ」で、CD-ROM ドライブ (D ドライブなど) を開き、ファイル一覧 (図 3) を表示します。[setup.exe] (setup などと.exe なしで表示されることもあります) をダブルクリックするとインストールが始まります。以降の手順は 3) の手順をご覧ください。
- *セキュリティ警告画面が出てそのまま「実行する」を選択し手順を進めて下さい。

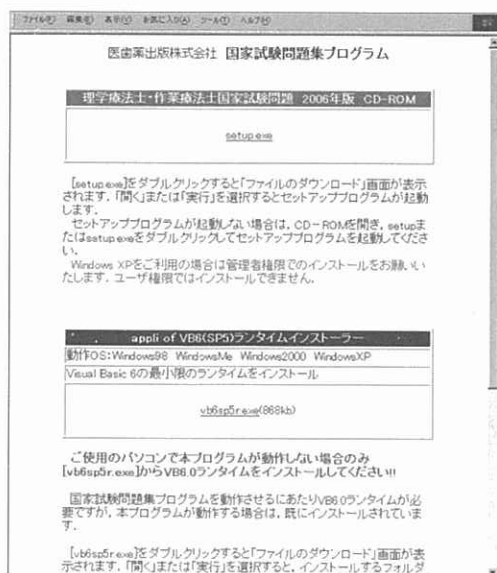


図 1

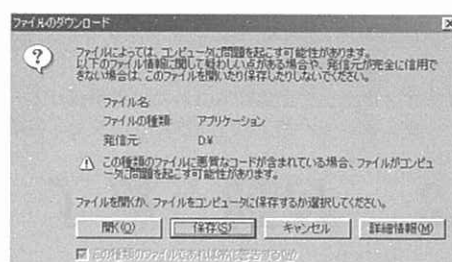


図 2



図 3



図 4

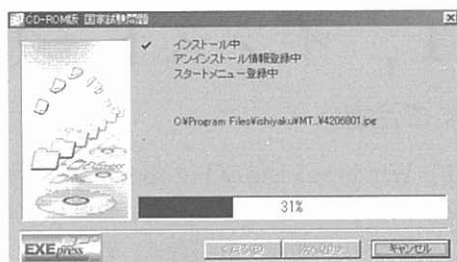


図 5

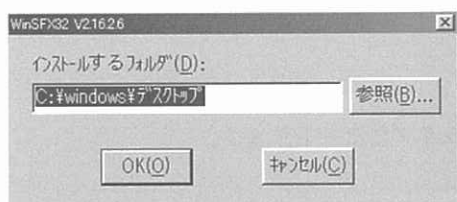


図 6



図 7

3) 続いて図 4 の画面で、[次へ(N)] ボタンを押しインストールを続行します。

4) 図 5 の画面ののちに、「インストールが完了しました」のメッセージが表示されればインストールは完了です。

<Visual Basic 6 ランタイムインストール>

本プログラム起動時に「必要な DLL ファイル MSVBVM60.DLL が見つかりませんでした」というプログラム開始エラーが表示されるときのみ、以下の手順で Visual Basic 6 ランタイムのインストールをしてください。

- 1) 図 1 の [vb6sp5r.exe] のクリックで、図 2 のようなダイアログが開きます。「開く」をクリックします。または図 3 の vb6sp5r.exe をダブルクリックすると、図 6 の「インストールするフォルダ」選択画面になります。そのままデスクトップを指定します。
- 2) デスクトップ上に作成された [vb6sp5r フォルダ] 中にある「ランタイムインストーラー.exe」(図 7) をダブルクリック後、「VB 6 (SP 5) インストール実行」をクリックしてください。

2. 起動と終了

<起 動>

[スタート] メニューで [プログラム(P)] または「すべてのプログラム(P)」を選択、一覧から [医歯薬出版] を選択し、[理学療法士・作業療法士 国試****] (****は年号) をさらに選択すると起動し、スタート画面 (図 8) が表示されます。

あるいは、[マイコンピュータ] か [エクスプローラ] で [Program Files] 内の [ishiyaku] フォルダを開き、[Ptot****] フォルダ内の [ken.exe] をダブルクリックすると起動し、スタート画面が表示されます。[ken.exe] は『理学療法士・作業療法士 国家試験問題プログラム』の実行ファイルです。



図 8

<終 了>

スタート画面右下の「終了」ボタン（図8-⑧）をクリックしてください。

3. 使い方

『理学療法士・作業療法士 国試プログラム』は、1回の試験（ゲーム）で問題をランダムに10問出題し（オプションで年度別出題を選択した場合は本試験の出題順に100問出題）、それに答えていただくという形式をとっています。キーボードは使用せずにマウスのみで操作していきます。

(1) スタート画面（図8）

- ① 「問題スタート」ボタン：出題画面に移動します。
- ② 「時系列成績グラフ」ボタン：時系列の成績グラフを表示します。
- ③ 「ジャンル別成績グラフ」ボタン：ジャンル別の成績グラフを表示します。
- ④ 「オプション」ボタン：各種の設定を行うオプション画面に移動します。
- ⑤ 「選択問題の残り問題数」ボタン：ジャンル別を選択したときの残り問題数を表示します。
- ⑥ 「バージョン情報」ボタン：『理学療法士・作業療法士 国試プログラム』のバージョンを表示します。
- ⑦ 「ヘルプ」ボタン：『理学療法士・作業療法士 国試プログラム』のヘルプを表示します。
- ⑧ 「終了」ボタン：『理学療法士・作業療法士 国試プログラム』を終了します。

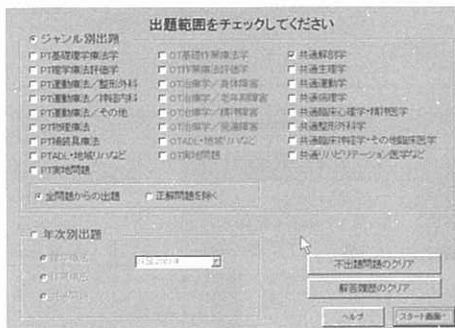


図 9



図 10

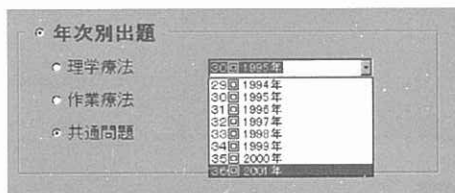


図 11

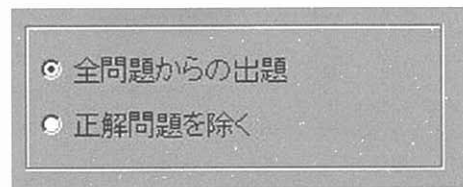


図 12

(2) オプション画面 (図 9)

スタート画面の [オプション] ボタン (図 8-④) をクリックすると、オプション画面が表示されます。

問題をスタートする前に、ここでジャンル別出題か年次別出題のいずれかを選択します。同時にその他の設定も行います。

先頭の□や○の欄をクリックしてチェックマークを入れます。もう一度クリックするとチェックマークが外れます。

出荷時の設定ではジャンル別出題の「共通解剖学」にチェックマークがついています。

●ジャンル別出題 (図 10)

図 10 はジャンル別出題を選択した場面です。表示されている 25 領域の中から出題するジャンルを選択します。出題するジャンルをクリックしてチェックを入れます。もう一度クリックするとチェックが外れます。ジャンルはいくつ選択してもかまいません。

この出題方式では、1 回の試験 (ゲーム) で選択したジャンルから問題をランダムに 10 問ずつ出題し、10 問終了するごとに判定メッセージが現れます。

また、スタート画面の [選択問題の残り問題数] (図 8-⑤) に残り問題数が表示されます。

●年次別出題 (図 11)

図 11 は年次別出題を選択した場面です。ここでは、プルダウンメニューから年次を選択します。領域の選択がある場合は、あわせてチェックで選択します。

この出題方式では、1 回の試験 (ゲーム) で選択した年次の全問が本試験と同じ順番で連続して出題されます。試験終了時に判定メッセージは現れません。

途中で終了した場合でも成績グラフに結果が反映されますが、次回起動時は第 1 問からのス

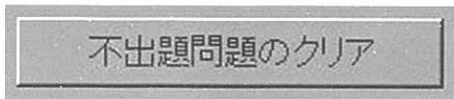


図 13

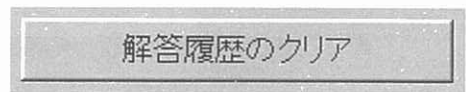


図 14

タートとなります。

●正解問題を除く (図 12)

ジャンル別出題を選択したときは、右側の部分から「全問題からの出題」か「正解問題を除く」のどちらかが選択できます。

「全問題からの出題」を選択すると、チェックしたジャンルの全問題から 10 問ずつが出題されます。

「正解問題を除く」を選択すると、一度正解を出した問題を除いて出題されます。スタート画面の「選択問題の残り問題数」は順次減っていきます。残り問題数が 10 問以下になった場合はその残り問題数だけが出題され、0 問になると出題は終了します。その際は、ジャンルの選択を変更するか、次項の「不出題問題のクリア」を実行します。

出荷時の設定は「全問題からの出題」です。

●不出題問題のクリア (図 13)

「不出題問題のクリア」ボタンをクリックすると、その時点で「正解問題を除く」に登録されていた問題番号をすべて解除します。特定のジャンルだけを解除することはできません。

●解答履歴のクリア (図 14)

「解答履歴のクリア」ボタンをクリックすると、その時点でいままで解答した結果をすべて解除し、最初に本プログラムを起動したときの状態になります。時系列成績グラフ、ジャンル別成績グラフなどもクリアされます。

(3)出題画面 (図 15)

●出題

問題文のエリア (図 15-①) にランダムに 10 問連続して出題されます (年次別を選択した場合は本試験の出題順)。

●解答

解答は [1]～[5] と「解なし」のボタン (図 15-②) をクリックして入力します。ボタンをクリックすると数字が【 】でマークされます。解答を訂正するときは、そのボタンを再度クリックします (【 】マークが消えます)。同時に複数のボタンを選択することもできます。

<ご注意>

複数のボタンを選択できますが、問題によって選択する数は異なります。設問の指示に従ってください。選択肢を 2 つ選ぶ問題の場合は、設問に従って 2 つの答番号を選択します。正解が 1 つであるにもかかわらず複数想定される場合はいずれか 1 つを選択します。

正解がないと想定されるときは「解なし」ボタンを選択してください。

※ 2005 年 (40 回) までは正解は公表されていません。模範解答としてあげてあります。本来は「解なし」という選択肢はありませんが、問題によっては正解として適当なものがないために、学習者の便を図るためにボタンを追加してあります。

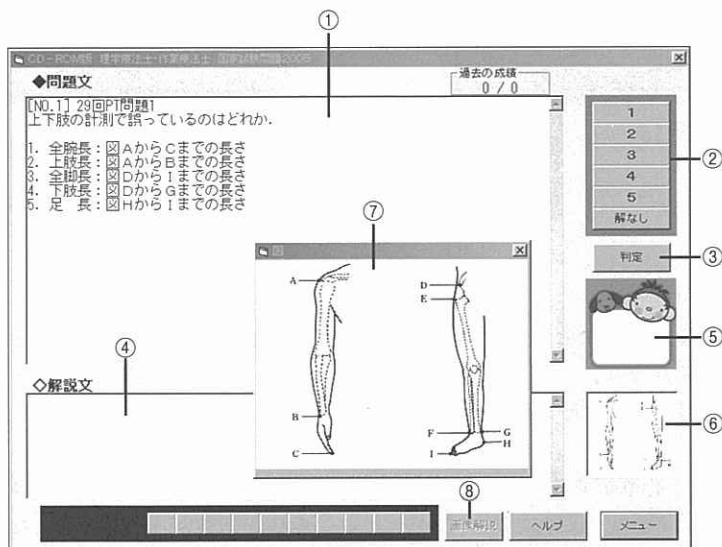


図 15

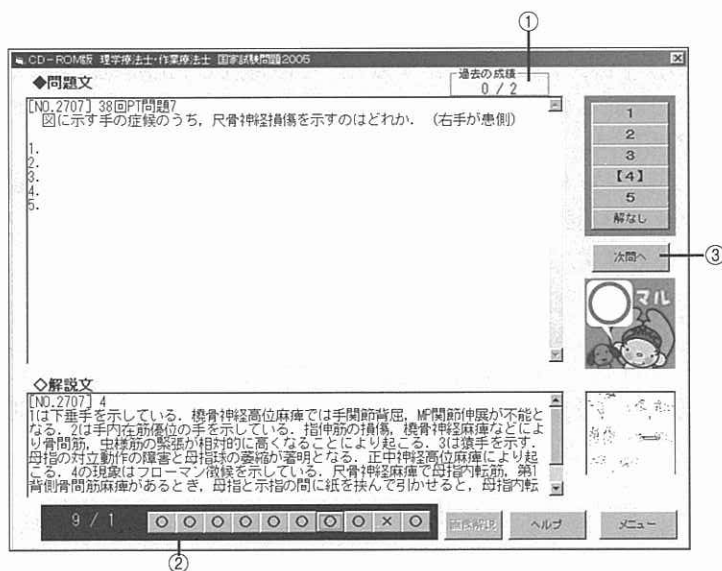


図 16

●判定

【判定】ボタン(図15-③)をクリックすると、正解か不正解かの判定が⑤のエリアに○か×で表示されます。正解がない場合は、「解なし」のボタンを選択します。正解が本来1つであるにもかかわらず2つある場合は、どちらのボタンを押しても「○」が表示されます。設問上、解答が2つある場合は、2つとも正しいボタンを押さない限り「○」が表示されません。

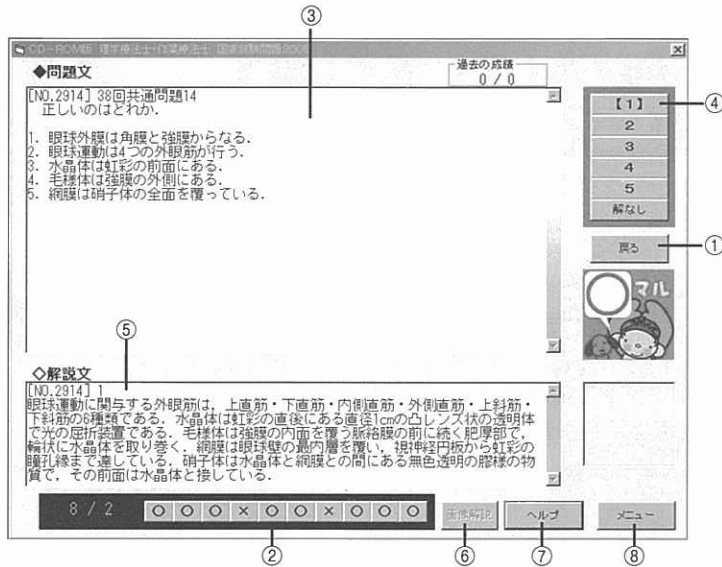


図 17

●正解・解説

判定と同時に、解説文のエリア（図 15-④）に正解と解説文が表示されます。解説が長文の場合はスクロールしてご覧ください。

●図版の拡大表示

図版が含まれる問題は、右下のエリア（図 15-⑥）に小さな図版が表示されます。この図版をクリックすると拡大図版が別ウィンドウで表示されます（図 15-⑦）。閉じるときはこのウィンドウをクリックします。

●解説文の図版表示

解説文に図版が含まれているときには、図 15-⑧、図 17-⑥のボタンが ON の状態になります。このときにボタンをクリックすると、解説文の図版が別のウィンドウに表示されます。図版のウィンドウを終了するとき、このウィンドウをクリックします。

●履歴

「過去の成績」（図 16-①）には表示されている問題の過去の成績が現れます（正解回数／出題回数）。図 16-②には 10 問単位で出題ごとの判定が表示され、正解数／出題数も表示されます。

●次問へ

「判定」ボタン（図 15-③）をクリックしたあと、このボタンの表示は「次問へ」（図 16-③）に変わります。

「次問へ」ボタンをクリックすると、次の問題が表示されます。

●10 問終了

「ジャンル別出題」では、10 問終了すると、判定メッセージが表示されます。判定メッセージ画面を閉じると「次問へ」ボタンの表示が「戻る」（図 17-①）に変わります。

「戻る」ボタンをクリックすると、スタート画面に戻ります。

「年次別出題」では 10 問終了すると「次問へ」ボタンは「次へ」に変わり、100 問終了後に「戻る」ボタンに変わります。



図 18

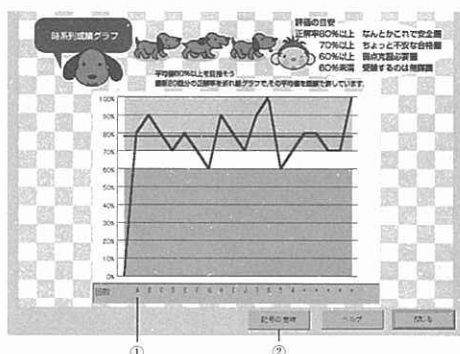


図 19

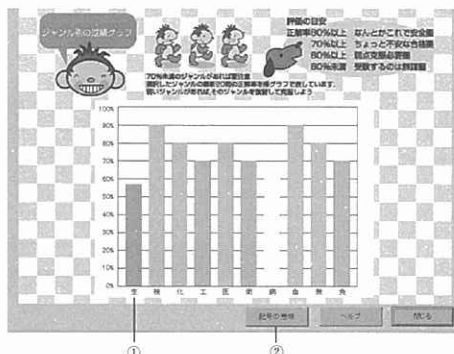


図 20

●判定メッセージ (図 18)

「ジャンル別出題」では、10 問終了時に、成績に応じて判定メッセージが現れます。

「年次別出題」では判定メッセージは出ません。

●10 問の見直し

10 問終了時には、結果を見直すことができます。

過去の判定マーク (図 17-②) の○や×のいずれかをクリックすると、その問題 (図 17-③) と、あなたがクリックした解答 (図 17-④)、および正解・解説 (図 17-⑤) が表示されます。不正解問題の見直しなどにご利用ください。

●解説文の図版

解説文に画像がある場合は、[解説画像] ボタンが ON の状態になります (図 17-⑥)。このときにこのボタンをクリックすると別ウィンドウで画像が表示されます。

●[ヘルプ] ボタン (図 17-⑦)

ヘルプを表示します。

●[メニュー] ボタン (図 17-⑧)

出題の途中で終了するとき、このボタンを押すとスタート画面に戻ります。

(4)成績グラフ画面

●時系列成績グラフ (図 19)

最新 20 回分の得点が黒色の折れ線グラフで、その平均値が青色の直線で表示されます。

また、選択したジャンルと年次がグラフ下に記号 (図 19-①) で表示されます。

背景の色は、正解率によって変えています。

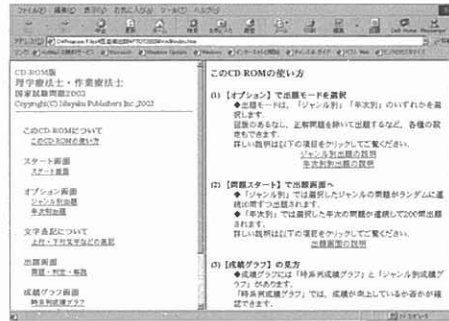


図 21

淡青色：100%～80% なんとかこれで安全圏
 緑 色：80%～70% ちょっと不安な合格圏
 黄 色：70%～60% 弱点克服必要圏
 あずき色：60%未満 受験するのは無謀圏

●ジャンル別成績グラフ (図 20)

グラフの下に記号で表示しているジャンル (図 20-①) の正解率を、棒グラフにしたものです。そのジャンルの最新 20 問 (20 問以下のときは出題数) の正解率を表示します。棒グラフの色は時系列得点グラフと同じ意味です。

このグラフをみると、弱点が一目でわかります。

●[記号の意味] ボタン (図 19, 20-②)

成績グラフに表示されるジャンルと年次の記号の意味を別ウィンドウで表示します。

●[ヘルプ] ボタン

各成績グラフ画面に関するヘルプを表示します。

●[閉じる] ボタン

スタート画面に戻ります。

(5)ヘルプ画面 (図 21)

スタート画面の [ヘルプ] ボタンまたは各画面の [ヘルプ] ボタンを押すと、図 21 のヘルプ画面が表示されます。見たい項目をクリックしてご覧ください。

[出題ジャンルの詳細分類表]

PT 専門問題	
領域名称	内容
基礎理学療法学	理学療法概念 理学療法の過程 理学療法の基礎理論 医療専門職と倫理
理学療法評価学	基本的評価法 障害別評価法
運動療法/整形外科	整形外科領域の運動療法
運動療法/神経内科	神経内科領域の運動療法
運動療法/その他	運動療法の理論と基本技術 脳外科領域の運動療法 小児科領域の運動療法 内科領域の運動療法 外科領域の運動療法 産科領域の運動療法 スポーツ障害と外傷 口腔・嚥下 平衡機能 高齢者・福祉領域
物理療法	温熱 電気 電磁波 光線 超音波 水治療 牽引
補装具療法	義肢 装具 車いす 歩行補助具
ADL/地域リハ/生活環境整備など	ADL の概念 ADL の基本技術と適応 リスク管理 地域リハ バリアフリー環境 リハ関連機器など
実地問題	各年度問題 1～40 までを収録

OT 専門問題	
領域名称	内容
基礎作業療法学	作業療法概念 作業療法の過程 作業療法の基礎理論 作業療法の枠組み 作業療法における作業技法 医療専門職と倫理
作業療法評価学	評価の基本的理解 活動の評価法
治療学/基本的知識/身体障害	身体障害領域の知識と基本技術 身体障害領域の作業療法技術
治療学/老年障害	老年期障害領域の知識と基本技術 老年期障害領域の作業療法技術
治療学/精神障害	精神障害領域の知識と基本技術 精神障害領域の作業療法技術
治療学/発達障害	発達障害領域の知識と基本技術 発達障害領域の作業療法技術
ADL/地域リハ/生活環境整備など	ADL の概念 ADL の基本技術と適応 地域リハの理念、システム 家庭生活、地域生活 バリアフリー環境 リハ関連機器など
実地問題	各年度問題 1～40 までを収録

共通問題	
領域名称	内容
解剖学	
生理学	
運動学	
病理学	
臨床心理学・精神医学	
整形外科学	
臨床神経学・その他臨床医学	臨床神経学 一般臨床医学 内科 老年医学 小児科 人間発達学
リハ医学/医学概論/リハ概論	障害の評価 廃用症候群 医学の定義 医の倫理 障害の概念と分類 障害と心理 リハの諸相 保健医療福祉制度 関連法規